

令和4年7月8日

報道機関各位

富山大学医学部ウィズコロナ時代の臨床実習 AI アバターロボットを利用した血液内科病棟無菌室内の臨床実習

日頃、富山大学の教育研究活動等へのご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。
本学医学部は、文部科学省「ウィズコロナ時代の新たな医療に対応できる医療人材養成事業(令和3年度補正)」に採択されました。それにより遠隔から操作できるAIアバターロボットを4～6年次医学部医学科生に対する臨床実習に導入し、オンライン教育やシミュレーション教育を大幅に向上させ、オンライン診療能力を含めた即戦力となり得る高度な医療人材養成を行っていくことを目指します。

本学附属病院血液内科では、必要な血液疾患の患者さんに病棟無菌室において造血幹細胞移植を施行しています。移植中は前処置(大量抗がん剤や全身放射線照射)のために幹細胞生着までの2～3週間は高度の血球減少(とくに白血球減少)が起こります。免疫力が高度に低下するため、感染リスクの観点から、臨床実習の学生にはこれまで入室や回診を許可しておりませんでした。

このたび、AI搭載の自立移動型テレプレゼンスアバターロボット temi[®]が導入されたことにより、スペースが限られており、特別な衛生環境が求められる無菌室内でも、臨床実習を行うことが可能になりました。具体的には、予め許可をいただいている無菌室内の患者さんと対面するAIアバターロボット temi[®]と、学生側のタブレット端末を通じて、臨床実習学生の受け持ちや回診を行い、実習指導を行います。

ウィズコロナ時代において、感染リスク対策の観点から、本学においても大人数での病棟回診は行いづらい環境にあり、臨床実習の学生が本来必要な診察や医療手技を十分学べない場面が出てきております。その中でも、上記のAIアバターロボット導入を通じて、質の高い臨床実習を実施し、オンライン診療能力を含めた即戦力となり得る高度な医療人材養成を行っていくことを本学では目標としています。

つきましては、取材・報道方よろしくお願いたします。

【本件に関する問い合わせ先】

富山大学附属病院血液内科長 佐藤 勉
〒930-0194 富山市杉谷 2630
TEL 076-434-7232(直通) FAX 076-434-5106(直通)
E-mail: tsutomus@med.u-toyama.ac.jp

臨床実習



写真は、無菌室内の患者さんと対面する AI アバターロボット temi[®]を用いて、学生が同種造血幹細胞の輸注(移植)を見学しているところです。また、同時にオンラインでの診察の見学も行っている様子を示しています。